

再び踏みにじられた

「私たちの『表現の不自由展・その後』」

「表現の不自由展・その後をつなげる愛知の会」
山本みはぎ

7月6日から11日まで、表現の不自由展その後をつなげる愛知の会主催で、名古屋市栄の市民ギャラリー栄で、「私たちの『表現の不自由展・その後』」が開催された。この企画は、2019年8月のあいちトリエンナーレの企画展「表現の不自由展・その後」が、脅迫や嫌がらせで中止になったことを契機に、市民の手で表現の自由と歴史の改ざんを見直そうと企画された。



ところが、3日目の朝に会場に不審な郵便物が届き、「破裂した」ことによって、名古屋

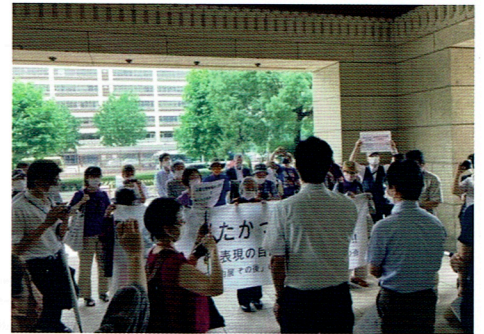
市は全館休館と施設利用の停止措置を取り、事実上展示は中止に追い込まれました。つなげる会のメンバーは、期間中の再開を求めて、名古屋市の文化振興室、指定管理者である市民ギャラリー栄や中警察に再開の協議に応じるように連日要請行動を行ったが、残念ながら期間中の再開は叶わなかった。

同時期に企画された東京展は、開催が公開された直後から会場に対して右翼などからの妨害、嫌がらせが続き、中止に追い込まれた。かんさい展は、開催直前に大阪府が会場の使用停止を行ったことから、仮処分申請を行い地裁・高裁・最高裁で使用停止の判断が覆され、無事開催された。

3日目の「破裂事件」に対して、河村市長は、7月8日に記者会見を開き、「市民の安全を守るのが市長の絶対的な義務」と言い、休館と利用停止を正当化しました。そもそも、河村市長は、2019年のあいちトリエンナーレで「平和の少女像」について「日本人の心を踏みにじる」と発言し平和の少女像や遠近を抱えての撤去を要求し、その後も名古屋市の分担金の不払い(係争中)や、従軍「慰安婦」の強制連行が歴史の事実ではなかったという認識を持ち、河村個人としても名古屋市としてもドイツミッ

テ区の平和の少女像撤去要請を行い、大村知事に対してリコール運動を推進するなど、正真正銘の歴史修正主義者だ。今回の展示は、公金をつかっていないから会場を貸したと言っているが、平和の少女像や、大浦信行さんの「遠近を抱えて part2」などを展示する展示会が開催されることは許しがたいことであつたに違いない。

今回の展示会は、半年の準備期間を経てボランティアや弁護士の方々など



多くの方の協力によって実現できたもだ。何よりも、名古屋市が暴力によって展示を中止し「表現の自由」を侵害したことは許しがたいことだ。開催された2日間はほぼ満員の延べ800人の方が会場に足を運んでくださった。1991年、金学順さんが自ら元慰安婦として名乗り出てから30年の歳月がたつが、日本社会はより一層歴史修正主義が広がっている感がある。事件後、新たに弁護団も結成された。つなげる会としては、暴力に屈することなく、表現の自由を守り、歴史の事実を記憶し、継承していくことが何より重要だと考え、名古屋市との再開に向けての協議を模索している。失われた4日間を再開することは、一人一人の人権が守られ、民主主義が健全に機能する社会の実現のためでもある。再開実現の際には、皆さんの協力を期待します。詳細は、以下のHPを参照ください。

<http://resumetheexhibition.seesaa.net/>

当事者が徹底追及 愛知県知事リコール署名偽造 「表現の不自由展・その後」妨害

【もくじ】
第1章 名古屋市中区からリコール署名に署名を求められた市民の苦闘
第2章 愛知県知事リコール不正署名問題で知られるべきことは何か
第3章 署名された署名簿、再び取り戻す
第4章 あいちトリエンナーレ「中止」と再開から分かれた1長年の苦闘と奮闘
第5章 愛知の歴史の事実を正すために
第6章 「表現の不自由展」の意義
第7章 署名簿を取り戻すこと、いつか来るその日のために
参考文献

【はじめに】より(抜粋)
2019年7月6日から11日まで、愛知の会主催で、名古屋市栄の市民ギャラリー栄で、「私たちの『表現の不自由展・その後』」が開催された。この企画は、2019年8月のあいちトリエンナーレの企画展「表現の不自由展・その後」が、脅迫や嫌がらせで中止になったことを契機に、市民の手で表現の自由と歴史の改ざんを見直そうと企画された。

3日目の「破裂事件」に対して、河村市長は、7月8日に記者会見を開き、「市民の安全を守るのが市長の絶対的な義務」と言い、休館と利用停止を正当化しました。そもそも、河村市長は、2019年のあいちトリエンナーレで「平和の少女像」について「日本人の心を踏みにじる」と発言し平和の少女像や遠近を抱えての撤去を要求し、その後も名古屋市の分担金の不払い(係争中)や、従軍「慰安婦」の強制連行が歴史の事実ではなかったという認識を持ち、河村個人としても名古屋市としてもドイツミッ

定価 1760円
あけび書房

注文受付中!
ご注文は、下記注文番号または
ホームページ掲載ページから

リコール署名不正と表現の自由
民主主義社会の危機を問う

注文書

愛知の会 代表 山本みはぎ 〒460-0001 名古屋市栄区栄4丁目1番1号 電話 052-588-4142 FAX 052-588-4448

2019年の表現の不自由展・その後の中止事件から、7月の「私たちの表現の不自由展・その後」中止事件までを検証した本が出ました。ぜひ、購読ください。